

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度(2009)を基準年度とし、平成23年度(2011)から平成27年度(2015)までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：実績排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
フロン類			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実績排出量総計			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量													
実績に対する 自己評価													

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数(千個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成21年度		平成27年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	1.90		1.81		1.87	1.82	1.94	1.82		
			5.0		2.0	5.0	-2.0	4.0	100.0	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計	1.90		1.81		1.87	1.82	1.94	1.82		
			5.0		2.0	5.0	-2.0	4.0	100.0	
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.72		0.69		0.68	0.70	0.69	0.66		
			5.0		6.0	3.0	4.0	8.0	100.0	
実績に対する自己評価	平成26年の生産量は基準年の生産量より1.29倍増加し、エネルギー効率が向上したのに加え下記のメニューにより、基準年に対し石油換算でエネルギー消費原単位が8.0%の削減となった。{要因：生産性の高い設備へ移行 (アルミ鋳造機18台の内3台撤去し2台新設、切断機3台撤去し2台新設)、工場内の照明を個別に順次LEDorインバータ化(70台)、生産計画の調整を行い、一部生産ラインの稼働を夜間操業に切り替え、昼間の電力使用量を削減した。} また、CO <sub>2</sub> 削減については、基準年に対し4.0%の削減となった。今後も改善活動を継続。									

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

備考：平成21年度基準値、エネルギー起源CO<sub>2</sub>を1.97⇒1.90へ、エネルギー消費原単位0.75⇒0.72へ変更  
理由) 生産個数の定義を営業生産数から、実質の生産数へ見直した為。

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	電力用A重油の廃止 (A重油比率60%削減を達成)	自家発電装置の廃止 (H23年実施)
2	電気の使用量の削減	基準年H21年の電力量は自家発電と中電の電力量が合算している。一方、H23年は自家発電廃止後であり、中電からの供給量が増加した。 今後、電気の個数当りのCO2使用量の削減比較は、H23年ベースで比較とする 電気の個数当りのCO2使用量{t-CO2/千個} H23年: 1.25、 H24年1.19、H25年1.32、H26年1.26	冷暖房装置の適正管理 高効率照明器具への更新 省エネ型電気機器への更新 変圧器統廃合&高効率変圧器への更新 休憩時間の消灯の徹底
3	LPGの削減	対前年比 2%削減	鋳造の生産性向上: 鋳造機の更新による (H26年)
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	製品の軽量化	客先要求100%達成	各プロジェクトの製品の実現化
2	産業廃棄物削減	対前年比 2%削減	分別収集及び資源化の徹底 {産業梱包材の削減: 外注先様へ持ち帰りの要請 (H25年)}
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。